

平成25年度 第2回日本粘土学会常務委員会議事録

日 時：平成25年2月2日(土) 13:30 - 15:30
場 所：早稲田大学理工学キャンパス62W号館1階
中会議室

出席者(順不同, 敬称略)

山田, 八田, 岡田, 小川, 河野, 佐藤, 志々目,
篠原, 鈴木(正), 田村, 中川, 日比野, 宮脇,
山崎, 土信田, 書記: 鈴木(憲)

1. 報告事項

- (1) 粘土科学の発行・編集状況(鈴木(正)): 編集委員会メンバーの変更が報告された。第51巻2号, 3号の発行予定ならびに現在の原稿受付状況が報告された。また必要配付部数を検討し51巻2号より発行部数を650部に減らすことが報告された(別紙)。
- (2) Clay Scienceの発行・編集状況(河野): 編集委員会メンバーの変更が報告された(別紙)。Advisory Editorsの位置づけに関する議論があり, Associate Editorに加えるべき委員数名について了解を得て変更することとなった。Vol.16 No.3, 4の印刷状況報告(別紙)があり, 原稿数によっては発行遅延の原因となるので, 積極的な要請があった。現行の投稿規定について原稿書式を明示した改正執筆規定案が提示された(別紙)。テンプレート(電子ファイル)を用意する必要性の意見が出されたが, 編集上の利便性がないため採用しないことになった。
- (3) 会計(土信田): 平成25年度会計中間収支状況(別紙)の報告がなされた。
- (4) 行事(佐藤): 第2回 Asian Clayについて, 日本, 韓国以外からの参加者も多く盛会であったこと, 会計報告を粘土科学に掲載したことの報告がなされた。
- (5) 国際協力(佐藤): 第15回 ICC(ブラジル)への参加呼びかけの依頼があった。AIPEAニュースレターに第2回 Asian Clay 報告と日本粘土学会の役員現況執筆を掲載する旨の報告があった。AIPEA情報の粘土学会会員への周知方法について議論があり, 粘土学会事務局から会員に配信することとなった。また今年は米国粘土鉱物学会の50周年となるため年会への積極的参加の願いがあった。
- (6) 企画
 - ①標準粘土(宮脇): 2012年7月以降19件の依頼があった旨報告された。セリサイト2種類は現在のストックをもって頒布終了の予定が報告された。新しい供給先については今後検討することになった。
 - ②ホームページ(岡田): 特になし。
- (7) 庶務 会員動向(土信田): 事務局から現状報告があった(別紙)。
- (8) 連合等(山崎): 特になし。
- (9) 事務局(土信田): 共催・協賛について報告があっ

た(別紙)。

(10) その他

- ①小川委員からICISのプレシンポジウム(5/11)の協賛と参加の依頼があった
- ②宮脇委員から北川先生の鉱物コレクション展示会開催の紹介があり, 日本粘土学会として共催もしくは協賛をすることが決まった。

2. 審議事項

- (1) 第57回粘土科学討論会について: 別紙をもとに以下の件について審議がなされた。
 - ①講演要旨集の電子媒体による配布について(中川): 八田常務委員長から電子媒体で要旨集を配布している学会の例が紹介された(別紙)。今回の講演要旨集は冊子体またはUSBメモリで配布することし, 参加申込時に事前選択することが承認された。
 - ②参加登録費について(中川): 非会員の登録費を15,000円に改めた。また, 参加登録費は前納(振替用紙による, ゆうちょ銀行口座送金)を原則とし, 当日支払いの場合は参加登録費, 懇親会費ともに2,000円割増しにすることが承認された。
 - ③シンポジウムについて(日比野): テーマ「女性研究者が拓く粘土科学」でシンポジウムを開催することが承認された。また, プログラム委員の役割分担を明確にすることが提案され, シンポジウムは企画委員が担当し, 提案型セッションと特別講演は山崎委員以外の庶務委員で担当することになった。
- (2) 法人化については時間の関係で評議委員会において議論することとした。

3. その他

特になし。

以上